

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『気分障害における寛解と回復に関連した神経回路基盤の 解明に資する縦断 MRI 研究』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2020年1月31日より2022年9月28日までの間に、国立精神・神経医療研究センターで「気分障害における寛解と回復に関連した神経回路基板の解明に資する縦断 MRI 研究」に参加された方

【研究期間】

2020年1月31日より2025年1月31日

【研究代表者】 慶應義塾大学病院 三村 将

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター 中込 和幸

【資料・情報の利用目的及び利用方法】

国立精神・神経研究センターでは、倫理審査委員会の審査を受け、「気分障害における寛解と回復に関連した神経回路基板の解明に資する縦断 MRI 研究」という研究課題名の研究を実施しています。この研究の目的は、成人期から高齢期のうつ病を持つ患者さんを対象として、薬物療法、CBT、ECT、rTMS のいずれかの治療を実施前後で、MRI 脳画像および臨床データ等を収集し、①寛解・回復に関連する神経回路基盤、②各治療に共通／特異的な神経回路基盤変化、③各治療の寛解・回

作成年月日： 2022年 9月 29日

復の予測因子となる神経回路基盤、を解明することです。ご参加いただいた皆様から臨床情報、生体試料（血液）、認知機能検査結果、MRI を用いた画像などの試料・情報をご提供いただきました。

この度、精神疾患レジストリの構築・統合により新たな診断・治療法を開発するための研究を進めるために、皆様からご提供いただいた試料・情報を「精神疾患レジストリの構築・統合により新たな診断・治療法を開発するための研究（研究代表者：中込和幸）」（以下、精神疾患レジストリ研究 URL: <https://mi.patient-registry.jp/>）で活用させていただくことになりました。精神疾患レジストリ研究では、皆様からご提供いただいた試料・情報を精神疾患レジストリ・統合データベースに登録し、本レジストリ保有者となる「精神疾患レジストリ協議会」の運営委員会に設置した情報提供審査委員会の承認を受けた国内外のアカデミアの研究機関、内資系の企業、外資系の企業に対して精神疾患の病因・病態解明、診断再構成、治療法の開発、医療政策提言に関する研究のために提供します。さらに、日本医療研究開発機構（AMED）が指定する公的データ共有プラットフォームに将来的に格納する可能性があります。これらの情報は、誰のものかわからないように匿名化した上で利活用し、本研究以外の目的で使われることはありません。

【利用又は提供する試料・情報等】

情報等：診療録（年齢、性別、診断名等の臨床情報）、気分、不安、発達障害傾向の評価、認知機能検査結果、脳画像データ

提供する試料・情報の取得の方法

情報等：カルテの診療録、臨床評価、心理検査

【共同研究機関】

慶應義塾大学病院	研究責任者 三村 将 （研究代表者）
京都大学医学部附属病院	研究責任者 村井 俊哉

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
所属 理事会 氏名 中込 和幸
電話番号 042-341-2711（代） 内線 2107

作成年月日： 2022年 9月 29日

e-mail：nakagome※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail：ml_rinrijimu※ncnp.go.jp（「※」を「@」に変更ください。）